

請願第 68 号

令和 6 年 12 月 4 日 受理

福祉医療委員会付託

「保育・学童保育施策の拡充と 76 年ぶりに改善された保育士配置  
基準の完全実施と世界水準を目指して、さらなる改善を求める」  
について

請 願 者 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 308

愛知保育団体連絡協議会会長 岩 崎 八十子 ほか 253, 119 人

紹介議員 筒井タカヤ、下奥奈歩、永田敦史

(要旨)「子どもたちにもう 1 人保育士を！」の願いが大きな世論となり、76 年ぶりに保育士配置基準が改善されました。

4・5 歳児については史上初めての改善となり、保育士 1 人の児童数 30 人が 25 人に改善されました(従前の基準での保育も可能となる経過措置が設けられました)。子どもの権利保障の観点からも大きな前進と言えます。

しかし、改善された基準がすべての自治体で実現したわけではありません。一刻も早くすべての自治体が完全実施し、保育施設の職員が生き生きと働き続けられる職場をつくり、保育の質を向上させる必要があります。

今回の改善は、はじめの一步です。世界水準の保育士配置や施設基準を目指し、さらなる改善が必要です。

いま、子どもの権利保障と乳幼児期からの安心できる子育てのためには、日常的に子どもの育ちと子育て家庭を支える社会資源としての保育・学童保育にゆとりを生み出す施策が必要です。保育現場の職員の増員をはじめ、保育・学童保育に関わる基準や施策の抜本的な改善を求め、下記について請願します。

記

- 1 安全安心な保育の実現のため、保育士配置基準改善の経過措置を解消するとともに、さらなる改善を進めて下さい。
- 2 愛知県として県内市町村に対して、保育施設の職員が生き生きと働き続けられ、よりよい保育ができるよう賃金と処遇を抜本的に改善できるように支援をして下さい。
- 3 愛知県が独自に行っている事業(1 歳児保育実施費、産休・病休代替職員設置費、低年齢児保育所途中入所円滑化事業費、第三子保育料無料化事業費、愛知県保育所等給食費軽減対策支援金、愛知県保育所等光熱費高騰対策支援金)について
  - (1) 愛知県が独自に行っている事業を堅持・拡充して下さい。
  - (2) 1 歳児保育実施費を他の年齢にも拡大するなど、さらなる充実を図って下さい。
  - (3) 1 歳児保育実施費、低年齢児保育所途中入所円滑化事業費を小規模保育事業所も活用できるようにして下さい。
- 4 愛知県全体の学童保育が「放課後児童クラブ運営指針」に基づいた一定水準の質を持ち、子どもにも保護者にも寄り添った学童保育運営が成り立つよう長期的な視野に立ち、国の巡回アドバイザー補助金を使い、県として巡回アドバイザーを配置して下さい。
- 5 人材支援事業を活用して、保育士・保育所支援センターに学童保育の担当者を配置し、学童保育指導員不足を解消する手立てを講じて下さい。また、担当者は常勤配置ができる補助金になるよう国へ上申して下さい。